

# 2012 年夏期学生派遣 活動報告書



2012 年 10 月 30 日 作成

## ●団体紹介

東日本大震災復興支援学生団体 Youth for Ofunato は、2011 年夏、青山学院からの派遣によって岩手県大船渡市で復興支援活動をした同大学の学生有志が、同年 10 月、派遣終了後も継続的な活動を行うために立ち上げた団体である。「大船渡の笑顔のために」を団体理念とし、以下の 2 つを目的として活動する。

1. 岩手県大船渡市内の仮設住宅入居者を中心とした、市民の生活再建と自立に必要なコミュニティづくりの支援を行う。
2. より多くの学生に復興支援に携わる機会を提供する。

### 【組織概要】

団体名：東日本大震災復興支援学生団体 Youth for Ofunato

設立：2011 年 10 月 11 日

代表：永田 光央（青山学院大学 国際政治経済学部 3 年）

副代表：荒井 美波（青山学院大学 総合文化政策学部 2 年）

メンバー：25 名（青山学院大学生）

顧問：伊藤 悟（青山学院大学 教育人間科学部 教授）

ホームページ URL：<http://youthforofunato311.jimdo.com/>

## ●2012 年夏期学生派遣 活動報告

### 【活動目的】

- ・仮設住宅団地を中心とした地域住民の交流の場を提供し、地域の復興に必要なコミュニティ形成を促進する。
- ・「学生」という自らの立場を生かして、世代を超えた住民協力と交流のかけ橋となる。

### 【活動期間】

2012 年 8 月 6 日～2012 年 9 月 17 日

### 【活動日数】

42 日

### 【活動場所】

岩手県大船渡市

### 【ボランティア参加者数】

32 名

### 【活動体制】

ボランティアコーディネーター：1名(6週間滞在)

学生リーダー：2名(6週間滞在)

学生ボランティア：30名(2週間滞在：6名、1週間滞在：24名)

### 【支援対象者】

- ・大船渡市長洞仮設住宅団地の入居者及びその周辺住民
- ・大船渡市三陸町越喜来地区の住民
- ・その他大船渡市に係る方々

### 【主な協力機関】

特定非営利活動法人 チャイルド・フアンド・ジャパン ※

特定非営利活動法人 越喜来の景観形成と住民交流を図る会(NPO 法人 リグリーン)

長洞友結ファーム委員会

長洞地域公民館

杉下仮設住宅団地自治会

※ 特定非営利活動法人チャイルド・フアンド・ジャパンは、2011年4月末より大船渡市に常駐し、ニーズの変化に対応したプロジェクトを企画・実施している。当団体は、同法人のプロジェクトに、学生らしいエネルギーを持った働き手として参加する形で現地での支援活動を行っている。今回、下記すべての活動を同法人のコーディネートのもとで実施した。また、宿泊拠点の提供を受けた。

### 【活動内容】

- a. 納涼祭
- b. 友結(ゆうゆう)ファーム
- c. ベンチづくり
- d. リグリーン
- e. 三陸港まつり
- f. 学習支援
- g. おおふなと夢商店街「踊る！！さんま夢祭」

#### a. 納涼祭

昨年に引き続き、2か所の仮設団地で自治組織主催の夏祭りが開催された。事前告知のためのポスターやチラシを作成・配布し、会場の装飾や看板等は住民の方々とともに仮設団地集会所にて作成した。当日は、人手の足りない出店で調理・販売の手伝いや、会場設営・片づけ等の運営補助を行い、また、住民の輪に入って盆踊りを踊ったり会話をしたりして一緒に祭りを楽しんだ。レンタルしたテントと照明器具を提供した。

#### 8月14日 杉下仮設団地 第二回納涼盆踊り大会

団地内の住民同士のつながりが強い杉下団地では、一方で、みなし仮設を含めた近隣住民が訪問しづらい場所となっていることが問題として挙げられている。そこで、自治会が近隣住宅約460戸に盆踊り大会への招待はがきを送付したり、地域の商店や寺院へ告知のポスターを掲載したりするなどして近隣住民の参加を呼びかけた。当日は団地外の近隣から50世帯以上の参加があり、団地住民と合わせて約150名が集まった。

#### 8月18日 長洞仮設団地 長洞地域公民館夏祭り

市内最大の308戸からなる長洞団地では、依然として団地内の住民同士のつながりが十分でない。そのため、祭りではグループ解答形式のクイズ大会を実施し、住民同士の交流と地域への愛着を深める機会になることを目指した。住民の中から、地域(大船渡市・猪川町・長洞)にまつわる問題を募集するため事前に聞き取りを行い、当日はグループづくりを補助した。一方で、いくつかの小さな住民組織の中では少しずつ住民の連携が深められており、2012年3月に発足した長洞地域公民館(自治組織)を中心に当日の運営・司会進行が担われた。また、友結ファーム委員会(後述)が祭りに出店し、団地内の組織同士のつながりを深める機会になった。当日は約300名の住民参加があり、団地に住む多くの人が顔を合わせる場となった。



装飾づくり



完成したやぐら飾り



ベンチに座る住民の方々



子どもたちで賑わう出店



クイズ大会



やぐらを囲んで盆踊り

## b. 友結(ゆうゆう)ファーム

2012年3月に開墾された長洞団地隣接の共同菜園「友結ファーム」は、門をくぐればのびのびとした原っぱが広がっており、仮設団地の居住空間とは違った風景がある。畑だけでなく、住民が自由に入出入り出来る場所として開放することで、ふと立ち寄った人同士の間でさらなるつながりが生まれる場となることが期待される。住民による「長洞友結ファーム委員会」が中心となって管理・運営を行っているが、畑以外のスペースを整備するところまでは手が回らず、住民が気軽に立ち寄れる場にはなっていなかった。そこで、「友結ファーム」がより人の集まる場所になるための工夫・改善作業を、場の良さを「引き出す」ための整備と、住民にその存在を「知ってもらう」ためのきっかけづくりという2つの側面からサポートした。また、肥料(牛糞・消石灰・有機石灰・化成肥料)や来季のための野菜の種(玉ねぎ・大根・ホウレン草・白菜)、雨よけハウスを寄贈した。

### 友結ファームの良さを「引き出す」整備

#### ・草刈り

広範囲に渡り高く伸びた雑草によって人の進入が妨げられていた広場の草刈りを住民の方とともに行い、子どもたちが自由に走り回ることの出来るスペースを確保した。

#### ・門の改良

観音開きの大きな門は、畑への鹿の進入を防ぐために不可欠なものであるが、その構造によって住民の方から「入りづらい」との声があった。そのため、門を変えることなく、より気軽に門を開けることが出来るように看板を設置した。

#### ・野菜マップの改良

畑内の作物を分かりやすく表したマップは、野菜の絵札を地図上のフックにかける構造になっていたが、強風で絵札が落下してしまうため、札を差し込む形に改善した。

#### ・あずまや建設

日影の少ないファームは、人が集まった際にゆっくりと休める場所が不足していた。そのため、団地内に住む棟梁の指示のもと、切妻(あずまや)づくりの補助を行った。

### 友結ファームの良さを「知ってもらう」きっかけづくり

#### ・畑作業メンバー募集のチラシ・ポスターづくり

畑作業に参加する住民を増やすため、ファームメンバーの意見を聞きながら、団地内に掲載するポスターとチラシを作成した。チラシは全戸に配布した。

#### ・持ち寄り食事会「お月見はまっぺし」の開催補助

完成間近のあずまやのお披露目を兼ねて、畑作業メンバー以外の住民がファームを訪れるきっかけとなること目的として9月15日に開催した。公民館(前述)婦人部とも協力し、サンマのすり身汁や白玉団子を参加住民と一緒に作って食べた。住民約30名が参加し、懐かしの曲を合唱するなどして盛り上がった。





畑周辺の草刈り



門の看板設置



野菜マップ



メンバー募集のポスター



あずまやで「お月見はまっぺし」



寄贈したビニールハウスと肥料

### c. ベンチづくり

昨年、仮設団地でのコミュニティ形成を目的として行っていたベンチづくりを、引き続き長洞団地で行った。木材の切断、釘打ち、ペンキ塗りの工程を通して、お年寄りから小さな子どもまで、幅広い年齢層の住民が一緒になってベンチをつくった。また、昨夏の活動で棟(1棟：約6戸)に平均2~3脚ずつ設置したベンチの実態確認を行い、より住民の使用頻度の高い場所や、人が集まりやすい場所に数を増やすなどして再配置を行った。



ベンチづくり



よく使われているベンチ

### d. リグリーン

特定非営利活動法人「越喜来の景観形成と住民交流を図る会」(略称：NPO 法人リグリーン)の活動に計6回参加した。主に少人数では作業の負担となりがちな作業をサポートした。また、「よそ者の学生」という視点から、リグリーンへの素直な感想や今後に向けた提案をする機会をいただいた。テントの資材、花壇の黒土と培養土、花の球根(アネモネ・フリージア・チューリップ)と種(カスミ草・ヒナゲシ)を寄贈した。

#### ・テントの設置

津波浸水区域である活動場所には日影がないため、住民のアイディアで、作業の休憩所や住民が集まる場所をつくるために鉄パイプやブルーシートを用いてテントを製作・設置した。

#### ・花壇整備

芽が出すぎてしまった金魚草やナデシコを間引き、花壇の空いた場所に移植した。また、大きな石を取り除き、黒土と培養土を敷いて来季のためにも肥沃な土地づくりを試みた。

#### ・綿羊の牧区整備

既存2か所の牧柵内の草を綿羊が食べてしまったため、新たに1つ牧柵を設ける作業を手伝った。完成した牧柵内のガラス片等を取り除き、綿羊を移動した。

#### ・「リグリーンわいわいマップ」の作成

よそ者の学生の立場から、「こうなったらいいな」という意見を絵とともに手書きの地図にしてまとめ、住民同士が今後についての意見をかわすきっかけになることを目指した。





設置したテントで休憩



花の間引き・移植



寄贈した培養土



寄贈した花の球根と種



綿羊の移動



「リグリーンわいわいマップ」

#### e. 三陸港まつり

毎年8月16日に開催される大船渡市三陸町越喜来の地域行事に、地元住民の方の「越喜来をもっと知ってほしい」というご厚意のもと、参加させていただいた。前日(15日)の灯籠づくりと、当日(16日)の灯籠運びを手伝った。



灯籠を呼び出し順に並べる



運ばれた灯籠が並ぶ祭壇

#### f. 学習支援

地域の公民館からの強い要望があり、8月12日、午前と午後に分けて田茂山一区公民館と仲区公民館の2か所で小学生を対象とする学習支援を行った。児童が各々持ってくる夏休みの課題をサポートした。

#### g. おおふなと夢商店街「踊る！！さんま夢祭」

9月16日、日ごろから関わりのある同商店街の魚屋店主からの依頼で、地域住民に500匹のサンマを振る舞うためにサンマを焼いて配布し、足りない人手を補った。また、子ども向けのくじやヨーヨーすくいの出店を手伝った。



学習支援



「踊る！！さんま夢祭」



【掲載された新聞記事】

・2012年8月15日 岩手日報21面：杉下団地 第二回納涼盆踊り大会

# 地域住民交え盆踊り

## 大船渡 杉下仮設 大勢参加、絆強める

大船渡市三陸町越喜の杉下仮設住宅(84戸)自治会は14日、同仮設住宅駐車場で地域住民を交えた盆踊り大会を開き、住民同士の絆を強めた。

仮設住宅入居者や地域住民ら200人以上が参加。「さくら音頭」や「岬めぐり」などの曲に合わせ、踊りを楽しんだ。

運営には同市で被災地支援を展開するNPO法人チャイルド・ファンド・ジャパン(東京都)や青山学院大の学生ボランティアらが協力。屋台や縁日コーナーを設け、威勢の良い掛け声で大会を盛り上げた。

同仮設住宅で暮らす若林登代子さん(69)は「地域の人やみなし仮設の人を含め、大勢の人が集まりとても楽し

い」と喜んでた。

盆踊り大会は昨年夏

に続き2回目。今年に入居者のほか、同仮設住宅周辺の460世帯に参加を呼び掛けた。

同仮設住宅自治会青年部の刈谷俊彦代表

(49)は「地域が一つになる機会ができて良かった。このつながりを地元の復興に生かしたい」と力を込めた。



「さくら音頭」に合わせて盆踊りを楽しむ仮設住宅の住民やボランティア



# 沿岸

地域の話題・情報をお寄せください

- 八戸支社 0178(43)1010
- 洋野支局 0194(69)1060
- 久慈支局 0194(53)3030
- 宮古支局 0193(62)1771
- 釜石支局 0193(23)5107
- 大船渡、陸前高田合同支局 0192(27)3070

## あずまや 完成間近

### 長洞仮設建設記念し交流会

大船渡市猪川町の長洞仮設住宅で15日、あずまやの建設を記念する交流会が開かれた。参加者は入居者の女性らが料理したサンマの

つみれ汁やだんごなどを味わい、憩いのひとときを過ごした。入居者のほか、同仮設住宅で活動続ける青山学院大学生有志の

支援団体「Youth for Ofunato」の9人も参加。女性らに教わりながらだんご作りなどに挑戦し、会場は和やかな雰囲気包まれた。



「菓子まき」で交流会を盛り上げる長洞仮設の入居者ら

あずまやは、同仮設住宅の農園「友結ファーム」敷地に「気軽に集まれる場を」と入居者の大工只野喜久男さん(73)、ファーム運営責任者の阿部重義さん(65)が建設中で、学生も協力している。

今日は只野さんらが屋根から餅の代わりにお菓子をまき、交流会を盛り上げた。只野さんは「みんなに世話になっているから、恩返ししたくてやっている」と、完成間近のあずまやを前に笑顔を見せた。

# だじま松橋の皆